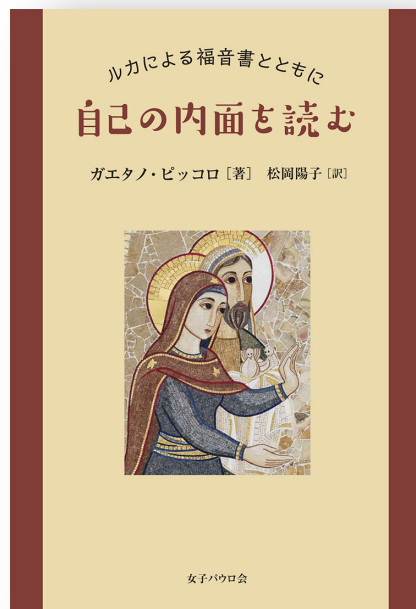




自己の内面を読む

ルカによる福音書とともに

ルカ福音書の多くの重要なテーマの下で、自分の考え方や感情の動きなどの内面に気づき、真剣に自己や神と向き合い、変えられていきたい方にとって、＜全身鏡＞（姿見）となる本。

ルカ福音の大部分の場面を52に分けて省察しており、黙想・観想の書としても多くの方にご活用をお薦めしたい。

著 ガエタノ・ピッコロ

イエズス会司祭。

1973年イタリアのナポリ生まれ。

教皇庁立グレゴリアン大学で形而上学を教える。

個人的な霊的体験をとおして、聖書への一つのアプローチを展開。それは、神のことばと出会うことで、各自の人間的なダイナミクスを浮かび上がらせ、心の照らし、癒やしをめざしている。

イタリア語版の著書には、同シリーズのマタイ編、マルコ編等がある。

訳 松岡 陽子

聖パウロ女子修道会会員。

I 宣教開始まで（ルカ1章1節～4章13節）

1.人生を先に進める約束 2.この家はホテルじゃない 3.都合のいいときだけわたしを捜さないで 4.わたしの見ているものが見えますか？ 5.わたしにも未来があるだろうか 6.手のかかる赤ん坊となって 7.心に納めて生きる 8.神はどこに行ってしまうのか 9.今日わたしにできること 10.神は遠くにおられない 11.どんな人になりたいか 12.片道だけの切符

II ガリラヤでの宣教（4・14～9・36）

13.ナザレの危険 14.わたしにかまわなくて 15.挫折からの挑戦 16.人それぞれにそれぞれの病 17.これまでとは違う見方に立つ 18.もうおしまいだ！ 19.違う台本を読んでしまった！ 20.愛に似るもの 21.決して立ち止まらない旅 22.生きることを放棄できますか？ 23.旅のサプライズ 24.あなたについて行きません！ 25.急いで決めなければ

III エルサレムに向けての歩み（9・51～19・27）

26.居続けるか、去るか 27.旅はもう始まっている 28.わたしたちは皆、傷つきやすい 29.わたしは家の主(あるじ)なのに…… 30.父を呼びもとめる 31.所有者はあなたではない 32.今や、飛ぶ時！ 33.望み、それとも破壊？ 34.悪はどこから来るのか 35.愛には扉が必要 36.人生がフォトショップなら！ 37.どこに行くかは自分で決める 38.破綻したかわりを癒やす 39.区切りをつけよう 40.むなしい雑踏にただ一人 41.信用するな！ 42.回復の歩み 43.何を求めているのか分からなくなった 44.わたしはOK、あなたはOKでない！ 45.落ち込んだままではない 46.価値あるものに値はつけられない

IV 受難・死・復活・昇天（20・27～24・53）47から52は割愛。

定価1,980円(本体1,800円+税) B6判 348頁 並製 ISBN 978-4-7896-0824-4 C0016